

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ

承認 1982年 8月24日

例会日 火曜日 12:30

例会場 愛知厚生年金会館

事務局 ☎763-5110

会長 加藤 敏昌

幹事 青山 敏郎

会報委員長 小池 宗

No. 39

## ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらず

1986~87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第233回例会 昭和62年4月7日(火) 雨

- ◇ “君が代”
- ◇ “我等の生業”

### ◇出席報告

会員 57名 出席 37名  
出席率 64.91%  
前回 3月31日 (修正出席率)98.25%

### ◇ピジター紹介 4名

### ◇お誕生日祝福

松藤夫人(3/31)、水野(民)君(3/31)、渡辺君(4/1)、鷺野夫人(4/7)、真下君(4/8)、池田君(4/9)

### ◇ニコボックス

佐野 寛君 加藤 舜陶さんをお迎えて。  
渡辺 辰夫君 サラシティ浜松がオープンいたしました。菅原さん、松藤さんいろいろありがとうございました。誕生日祝い。  
西村 禎二君 菅原さんの友人のリチャード・ナリヨシ様に大変お世話になりました。菅原さんありがとう。  
加藤 正義君 本日早退させていただきます。  
松藤 国弘君、鷺野 義明君 夫人誕生日祝い。  
水野 民也君、池田 隆君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。  
真下 勝利君 誕生日祝い。  
西川 豊長君 結婚記念日祝い。

### ◇青山幹事報告

1. ロータリーの友4月号がきておりますのでお帰りにお持ち下さい。

### ◇加藤(敏)会長挨拶

今までいろいろな臓器の癌についてお話してまいりましたが、本日は食道癌についてお話します。早期食道癌でも、5年生存率は30パーセントに落ちません。その治療方法、治癒率、発生部位、延命効果の一部その他は、それぞれスライドで説明申し上げました。

### ◇講演 “焼物と文化”

日展評議委員

加藤 舜陶 氏 (紹介 佐野君)



ロクロには人後に落ちない自信があるが、話は苦手である。

文化の定義は生活であり、生活の向上によって倅せを得られる。生活に直結するものが焼物である。

土器は縄文時代に祭器として造られた。埴輪・ハジ器等で、野焼きで7~800度で焼いた。弥生時代になって農耕民族になり、食器が作られるようになった。

炆器は堅い焼物で、窯で焼いた。飛鳥・白鳳・天平時代に作られた須恵器で、灰陶とも言い、1200度の高温で焼く。須恵器の見どころはロクロ技術の美しさで、軽く、堅い。河内長野で多く発見される。

高句麗・新羅・百済の時代で、新羅の勢力が強くなり、高句麗の亡命者が奈良盆地で仏教文化を栄えさせた。仏様に使用する物が須恵器である。

天平時代以後須恵器は無くなり、鎌倉武士が台頭して武家政治が始まる。鎌倉時代に初めて日本文化が生まれてくる。

施釉陶器が鎌倉時代に出来る。猿投から瀬戸に古窯群がある。中国は宋の時代で、道元禪師と加藤四郎が学んで来た。瓶子が沢山出来た。ロクロは無くなり、紐作りになってゆがみ、不均衡になったが、却って力強い作品が現れてきた。

茶陶は桃山文化の茶の湯に使う道具である。千利休は堺の町人で、金を持って遊び事を行った。出来過ぎの物は排除し、朝鮮の飯食い茶碗を高麗茶碗として名器に育て上げた美意識はすばらしい。秀吉が利休の勢いをおそれて切腹させた後、あとを継いだのが古田織部で、草庵風の茶の湯から書院風の茶の湯に変わって行った。

織部はアンバランスの美を唱え、筆で絵を描いた。抽象的な幾何学文様はペルシャ文化から来たような気がする。磁器もペルシャが発祥の地で、ペルシャ染付とも言われている。中国のゴスと共に日本に入って来た。中国は元の時代で、染付の素晴らしい作品が多い。

古伊万里へ入ってきた磁器を、瀬戸の加藤民吉が秘伝を持ち帰り、大量生産をする。それ以来瀬戸物の名が広がった。一般庶民は木の碗を使っていたが、今から170~80年前に焼物の食器を使うようになった。

毎日使う食器を、もっとも好きな茶碗や湯呑みを使って、日常生活を豊かにして下さい。

時代の先端を行く者が芸術家である。新しい工芸をめざして努力しているが、それは無限の世界である。20世紀最高の文化を残したいという事が希いである。

深遠なる陶器は深遠なる遊びである。

#### ◇ガバナーステターより



### 新地区への 抱負

第276地区  
ガバナーノミニ

## 田中 徹

国際ロータリー元理事(1983~85年)菅野多利雄氏から贈られたハーバート・J・テラーの我が自叙伝を読み返してみた。

ハーバート・J・テラーは1954~55年国際ロータリー会長を勤め1978年5月、85歳で逝去されたが四つのテストの発案者で熱心なクリスチャンであった。この本の真のクリスチャンなる十二箇条という項があり「真のクリスチャンはイエス・キリストを自己の魂の救い主と信じている」という言葉があった。これをロータリアン、ロータリーに置換えてみると

真のロータリアンは  
ロータリーを自己の魂の  
救い主と信じている

となり超我の奉仕の思想がここに在るような気がした。

さて新しい第276地区として出発するに当り私自身はロータリーの心を今一度見直してみたいと思い勉強中である。私自身が老タリアンでなかったか、情性で動いてはいなかったか、初心に戻って自分を見つめているところである。これから国際協議会に出席して白紙になった己れの心に何かを描いて帰ってくるわけであるが古壺新酒、愛知県60クラブのロータリーに新しい酒をいっぱい注ぎたいと念じている。

地区の皆さんの友情と御鞭撻を乞い願うものである。

#### 地区協議会開催間近

来たる4月26日(日)、岡崎南R.Cのホストで地区協議会が下記の通り開催されます。

出席予定者はお忘れなきよう、よろしくお願いたします。

記

日時 昭和62年4月26日(日)

登録 AM 9:20 ~ AM 9:50

本会議及び分科会

AM 9:50 ~ PM 4:30

場所 本会議場：岡崎市民会館大ホール

分科会場：岡崎市民会館・岡崎信用金庫本店・岡崎商工会議所

◎出席予定者

野村 義雄君	魚津 常義君
鷲野 義明君	大谷 和雄君
武内 清君	黒須 一夫君
石田 耕嗣君	久保田 皓君
浅井 誠寿君	斉藤 康二君

#### ◇例会変更のお知らせ

名古屋東南R.C 4/23(木) 春の家族会の為、  
4/19(日) 関市産業振興センターにてAM 9:00より  
4/30(木) 夜間例会の為、  
PM 6:00より  
名古屋大須R.C 4/23(木) 家族会の為、4/19  
(日)京都 嵐山方面にてAM  
8:00より  
豊山一城北R.C 4/28(火) 夜間例会の為、  
PM 6:00より

#### ◇次回例会(4月14日)

立食のため、卓話はありません。

#### ◇次々回例会(4月21日)

講演 “日本人と焼物”

陶芸作家

加藤 裕英 氏 (紹介 笹野君)